

平成 26 年 7 月 31 日

各 位

株式会社 東 和 銀 行

平成 27 年 3 月期第 1 四半期決算について

～コア業務純益、経常利益、四半期純利益ともほぼ前年並～

平成 27 年 3 月期第 1 四半期単体決算は、本業の収益力を示すコア業務純益、経常利益、四半期純利益とも減益（連結四半期純利益は増益）となるも、ほぼ前年並みを維持。

【単体決算概要】

（単位：百万円）

	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比
資金利益	7,706	7,717	△10
コア業務純益	2,682	2,808	△125
経常利益	2,602	2,936	△333
四半期純利益	1,777	1,821	△44

【連結決算概要】

（単位：百万円）

	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期	前年同期比
連結経常利益	2,744	2,890	△145
連結四半期純利益	1,849	1,726	123

1. 預貸金について

預金は、前年同期比 373 億円増加の 1 兆 8,110 億円、貸出金は、同 193 億円増加の 1 兆 2,974 億円となり、預金・貸出金とも好調に増加しています。

2. コア業務純益について

貸出金が好調に増加し資金利益が順調に推移したことから、本業の収益力を示すコア業務純益は前年同期並みの 2,682 百万円となりました。

3. 経常利益及び四半期純利益について

経常利益は 2,602 百万円、四半期純利益は 1,777 百万円となり、コア業務純益と同様に前年同期並みの利益計上となりました。なお、連結ベースの四半期純利益は増益となりました。

4. 自己資本比率について

自己資本比率は、単体 10.55%、連結 10.80%となりました。

5. 金融再生法開示債権比率について

金融再生法開示債権比率は、単体が 4.23%（前年同期比△0.38%）、当行と東和フェニックス㈱の合算が 4.27%（同△0.55%）となり、改善が図られました。

以 上